

研究課題名	悪性新生物を合併した炎症性腸疾患患者の臨床的特徴についての検討
研究の意義・目的	炎症性腸疾患は潰瘍性大腸炎やクローン病などの消化管の粘膜に慢性炎症または潰瘍を引き起こす疾患の総称です。慢性炎症は発がんのリスク因子であることが知られています。また治療に免疫を抑える治療を用いることで、がんを引き起こすこともあります。この研究ではそういったリスクをふまえて、がんを合併した炎症性腸疾患患者さんにはどんな特徴があるのか。がんを早期に見つけるにはどれくらいの頻度で検査をすべきかなどを明らかにすることを目的としています。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2023年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2006年9月～2021年2月に大阪市立大学医学部附属病院に通院中の炎症性腸疾患の患者様方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	患者様の診療記録を使用させていただきます。年齢、性別、診断名、内服薬、発症年齢、罹病期間、炎症性腸疾患治療期間、悪性新生物の診断方法、悪性新生物の病期、悪性新生物の治療日・治療方法、悪性新生物治療後の予後、悪性新生物治療後の炎症性腸疾患への治療法血液検査、内視鏡検査、CT検査、MRI検査、病理組織検査などの項目を使わせていただきます。
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の施設に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者 細見周平
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	例) 大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 (担当者氏名) 細見 周平 電話番号：(06) 6645-2121 (代表)